

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1268号	氏名	西岡 克章
論文審査担当者		主査教授	下川 功
		副査教授	金武 洋
		副査教授	江口 勝美
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、長期腹膜透析患者における腹膜中皮細胞の再生の可能性について、実験的に検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ラットにおいて、実験的に腹膜の線維化を起こした後、中皮細胞、線維化層を剥ぎ取り、その後の再生変化を経時的に、免疫組織化学、走査電顕など形態学的方法を用いて検討した研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、間葉系細胞が筋線維芽細胞を経て、中皮細胞へと分化する過程を形態学的に示唆した点は、高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は腹膜中皮細胞の再生機構の解明と臨床応用に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			